

各 位

会社名 株式会社 構造計画研究所
 代表者名 代表取締役社長 服部 正太
 (JASDAQ・コード4748)
 問合せ先 代表取締役副社長 阿部 誠允
 電 話 03 - 5342 - 1141

平成21年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異に関するお知らせ

平成20年 8 月18日に発表いたしました平成21年 6 月期第 2 四半期累計期間(平成20年 7 月 1 日～平成20年12月31日)の業績予想との差異が生じることとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成21年 6 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異(平成20年 7 月 1 日～平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,200	70	30	110
今 回 実 績 (B)	3,562	355	396	331
増 減 額 (B - A)	637	425	426	221
増 減 率 (%)	15.2			
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成20年 6 月期第 2 四半期累計期間)	3,902	4	39	169

2. 差異が生じた理由

平成21年 6 月期第 2 四半期累計期間における売上高は35億62百万円となりました。特に、システムソリューション事業においては、前事業年度に大手通信キャリア向けの大型プロジェクトを受注したものの、比較的長期の工期が設定されていることもあり未だ売上として計上できないことなどが影響し、一時的に売上高、利益ともに減少いたしました。そのため、上期発生の販売費および一般管理費をすべて吸収できず、営業損失 3 億55百万円、経常損失 3 億96百万円のやむなきに至りました。なお、当第 1 四半期にもご報告いたしましたとおり、これに厚生年金基金からの脱退にともなう厚生年金基金特別拠出金 2 億31百万円を特別損失に計上した結果、四半期純損失は 3 億31百万円となりました。

3. 平成21年 6 月期通期業績予想について(平成20年 7 月 1 日～平成21年 6 月30日)

平成21年 6 月期通期業績予想につきましては、差別化された技術力と品質を高く評価し信頼をいただいている顧客との相互繁栄を全社一丸となって推し進めるほか、これまで培ってきた営業力を発揮し、高付加価値ソリューションの提案をもって新規顧客および利益性の高い新規案件の獲得に精励してまいるとともに、綿密なプロジェクト管理体制を堅持し採算面にも配慮していくことで、当期計画は達成可能であると認識しており、平成20年 8 月18日発表の期初予想を変更せずにご報告させていただきます。

今後、業績予想の修正の必要が生じた場合には、ジャスダック証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

以 上